



進路用証明写真について

今から準備してしてください

今の時期に大切なことは何か？

今年も残すところ2ヶ月となりました。3ヶ月で私立入試、4ヶ月で卒業式、そして5ヶ月後には、みなさんはもう長三中の生徒ではなくなります。さて、この11月が一番苦しかった！これが卒業生の感想で一番多いものです。

なぜ、11月が苦しいのでしょうか？

まず、大きな行事が終わり、否が応でも「受験（進路）」について考える時期です。つまり、逃げ場がないということです。

次いで、12月の進路希望を確定する三者面談までのテストは「期末テスト」のみとなり、自分の「報告書の成績」や「得点力」が見えてくる。つまり追い込まれる。

「進路希望を固めろ！」「どうしたいの！」と進路に対する決断を迫られる。

「親や教師が勉強しろとうるさく言う」・・・いやあ、これは事実ではありませんね。「学習しなさい！」は今までも言っていましたから。言われていることが以前より胸に突き刺さるから「うるさい」のでしょう。でも、最も「勉強しなくてはいけない」と思っているのは、あなた自身のはずです。

「進路希望を決める」時期は「現実を見つめる」ことが求められ、その現実と「自分の夢（希望）」とのギャップに苦しめられるのだと思います。

さて、この時期になると、授業中などで学習に集中する人が大変多くなりますが、反対にその流れに乗れず、友だちとのお喋りに夢中になり、学習に向き合えなくなる人も出ます。そんな人には、しっかり指摘してあげることも大切です。言われるまでわからない人、言われて初めて分かる人、言われて逆ギレする人も世間にはいます。同じ教室で勉強する人間として、言って当然、言われて当然です！

みなさんにとって、「進路希望を決めること」「受験に苦しむこと」は、将来の自分の幸福な生活を獲得するために必要なことです。たとえ一時的に苦しい現実から目をそらしても、現状は変わりません。それどころか時間が過ぎれば過ぎるほど、さらに「追い込まれる」ことになります。

この「受験の苦しさ」や「将来への夢への挑戦」は、同じ中学3年生であれば共有できるものです。全国規模では数十万の「同い年」が受験に苦しみ、それを乗り越えて自分の進路をつかみ取ろうとしています。

だから、「しんどい！」「つらい！」と自分の苦しみを主張することはかまわないと思いますが、現実から目をそらしたり、逃げることはやめましょう。今回の二者懇では、自分の希望進路について、「可能性が厳しい」とか、場合によっては、変更を考えざるをえない人もいるかもしれません。そういった人も、現実から目を背けることなく、しっかりと考え込んでください。しかも、勉強を毎日続けながらということです。

今から12月の三者懇までの数十日間は、全ての受験生に同じだけあります。その時間を苦しんで過ごす人は、苦しんだ分だけ自分の進路と向き合ったことになります。

その活動は必ず、今後の人生において「価値」を持ちます。

